

くだまつ

社協

だより



2013.2/1 NO.144号

社会福祉法人 下松市社会福祉協議会

〒744-0022 下松市大字末武下617番地2
下松福祉センター内

TEL 41-2242 FAX 41-2330
<http://www.kudamatu-syakyo.or.jp/>

嬉しいことの多い
よき年に
しましょう



目次 (主な内容)

- 新年のあいさつ…………… 2P
- 共同募金中間報告…………… 3P
- 山口県総合社会福祉大会 …… 4、5P
- 善意の花束…………… 6P
- お知らせ…………… 7、8P

昨年の12月21日に、中村総合福祉センターで、中村地区社会福祉協議会のボランティアグループ中村和らぎの会の会員が、餅つきを行いました。

この餅つきは、今回で21回目を数えますが、つきたてのお餅を地区の一人暮らしの高齢者のお宅にお届けし、大変喜ばれています。

～「はたちの献血」キャンペーン 1月1日から2月28日～



だれもが安心して暮らせる 福祉のまちづくりをめざす

下松市社会福祉協議会 会長 磯村 寿夫

平成二十五年の新春を迎え、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

昨年末の総選挙のもとに、自由民主党の安倍政権の誕生により、わが国は、ようやく安定の方向に向って進んでいると言えます。私どものスローガンは、表題にあるとおり「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくりをめざして」です。これは、十年かわらざる私どもの合言葉です。私ども福祉にたずさわる者は、グループまたは個人個人、お互いの持分、特性を発揮して、それぞれの分野で、この合言葉のもとに、活動してまいりたいと念願しています。

行政は、福祉長中期計画を策定し、施策を推進しています。一、総合計画、基本構想、二、福祉プラン、三、高齢者プラン、四、障害者プラン、五、子育てプラン、六、健康プランです。私ども市社協は、民間だからこそできる独自の福祉活動を実践することは勿論ですが、法により、行政の指導支援を受ける団体として、

これらのプランを基盤において、各種目の活動を進めなければなりません。昨年三月に、地域福祉活動計画を作りました。行政のみでは果たし得ない福祉課題、ニーズに対応して、民間の特色を発揮できる活動計画です。「社協だより」に概要を掲載しておりますが、福祉リーダーの皆さんにはぜひ参考にして活動してほしいと思っております。

また一方、日本全体に広がる自然災害対処を教訓にして、行政では、対策をたてています。一、洪水ハザードマップ、二、土砂災害ハザードマップ、三、高潮ハザードマップです。市内でも地域によって差がありますが、各地域での安全、福祉を守ることが、各地域での安全、福祉を守ることとを使命とする私どもとして、災害要支援者対策を樹立実践することは、緊急の課題であります。活動計画策定にあたっての地域座談会では、すべての地区で、お互い隣り近所につきあいの希薄さがとりあげられ、また、高齢者家庭がほとんどの限界集

落では、だれが援護側にまわるのか、消防、警察等、専門機関が、末端に対応できるのか、真剣に話し合いが行われました。課題の解決は、本市のような、住みよさランキング全国788都市中13位の地域でも、大変むづかしい問題だと思っております。

行事の特色として、一昨年、会場の都合で休止した「愛のバザー」を、新装なった中央公民館(ほしらんど)で再開しました。多くの市民皆さんのご協力のもとに14500点の物品が拠出され、各界各層のボランティアの連帯活動で、盛大に行うことができました。収益金144万円は、共同募金へ拠出し、福祉活動の支援に使います。

昨年は、第62回山口県総合社会福祉大会を、平成7年以来17年ぶりに下松市で開催、山口県下から1000人の皆様がスターピア大ホールに参集しました。従って、下松市社会福祉振興大会は、日程の関係から行わず、市民福祉リーダーの意志結集の機会がありませんでした。そういった関係で、私としての、この新春のあいさつは、昨年を総括する意味で少し長くなった次第です。

下松福祉センターを拠点とする市社協事務局は、市民皆様の民間福祉活動の相談役の役割を充分つとめてまいります。本年も、市民皆様のかわらぬご支援ご協力をお願いし、新春のあいさつといたします。

福祉施設見学会

◆日時 3月5日(火) 9時~15時30分

◆内容

- 福祉講座
「福祉サービス」
について
- 施設見学



- 特別養護老人ホーム松寿苑
- グループホーム・メディアケアホーム幸ヶ丘
- 指定障害者支援施設第1しょうせい苑

◆対象 福祉に関心のある市民

◆定員 18人

◆参加料 500円(昼食代)

◆締切日 2月21日(木)

◆申込方法 はがき又は電話、FAX
(住所、氏名、年齢、電話番号)

◆申し込み・問い合わせ先
〒744-0022 下松市大字末武下617-2
下松市社会福祉協議会
TEL41-2242 FAX41-2330

～ 参加する あなたも素敵な資源です ～

山口県共同募金会 下松支会 赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました



皆様から寄せられた募金総額

11,783,289円

(平成25年1月4日 現在)

共同募金	10,729,046円
歳末たすけあい募金	1,054,243円

“じぶんの町を良くするしくみ”

昨年10月1日から12月31日まで展開してまいりました赤い羽根共同募金運動は、各自治会、福祉関係団体をはじめ、法人・各事業所の皆様、そして学校、子ども会、その他多くの方々のあたたかいご支援のおかげで、多額の募金が寄せられました。

目標額13,000,000円に対しまして、1月4日現在、実績額11,783,289円で達成率90.6%となっております。

皆様から寄せられました募金は、県内の社会福祉施設・団体をはじめ、本市の地域福祉活動の推進に有効に活用させていただきます。

皆様のあたたかい思いやりの心に感謝いたします。

なお、共同募金会下松支会及び市社会福祉協議会では、歳末たすけあい募金と善意銀行からの浄財を、市内の福祉施設等に年末の見舞金としてお贈りいたしました。



歳末たすけあい募金 (共同募金会下松支会)

地域歳末見舞金	80件	480,000円
市内福祉施設見舞金	5施設	100,000円

善意銀行 (下松市社会福祉協議会)

重度心身障害児(者)見舞金	143件	2,215,000円
市内福祉施設見舞金	6施設	300,000円
交通遺児等見舞金	2件	60,000円



～ 助け合う 明るい町は 福祉から ～

高齢者の医療の確保に関する法律制定30周年記念
財団法人山口県老人クラブ連合会創立50周年記念
第62回山口県総合社会福祉大会

昨年10月30日、下松市のスターピアくだまつ大ホールにおいて、約1,000名の参加を得て、「第62回 山口県総合社会福祉大会」が開催されました。

この大会は、県下の社会福祉関係者が一堂に会し多年にわたり社会福祉の向上に尽力された方々を表彰し、敬意と感謝の意を表することにより、本県の社会福祉のより一層の発展を資することを目的として開催されました。

式典に先立ちまして、オープニング行事として、指定障害者支援施設 第1しょうせい苑の皆さんによる「しょうせい苑音頭」～リミックスバージョン～が行われました。

つづく式典では、社会福祉事業に、多大な功績のありました計556名29団体に、山口県知事表彰、山口県社会福祉協議会長表彰をはじめ、計14団体から表彰が行われました。

式典終了後は、脳科学者の人間性脳科学研究所 所長の澤口俊之さんによる「脳を生かして健康ライフ」と題しての講演がありました。

講演では、人間性知能（HQ）の重要性についてのお話をされました。HQは、脳の前頭前野にあり、脳の各部分を総合するコントロールセンターの役割をしており、未来志向的行動力を司っている。HQが高い人ほど、仕事ができる、恋愛・結婚が良好な人が多い、など、HQが高いことと、人生に成功し幸福になることは大きく関係している。このHQにとって大切な前頭前野の部分は加齢と共に低下するが、HQを高めることは可能で、その重要性とその方法について話されました。



～ “心のかよう福祉のまちづくり” をめざして ～

この大会の席上、本市から次の皆様が受賞されました。

(敬称略)

☆社会福祉事業功労者表彰

山口県知事表彰

【社会福祉事業功労者】
民生委員・児童委員

内山俊雄 田中宏明

山口県社会福祉協議会長表彰

【社会福祉事業功労者】

内山作郎 伊藤信弘
角井武彦

山口県共同募金会長表彰

【共同募金運動奉仕者】

久山歌子 大福山 譲郎
山本誠一 内山 作
菊本凉子

【共同募金運動従事者】

廣石順丈

山口県身体障害者団体連合会長表彰

会長表彰

下瀬進 藤井宏昭

一般功労者表彰

市川昭男

模範障害者表彰

浜田時雄子 吉田妙子
齊藤博子

山口県老人福祉施設協議会長表彰

会長表彰

内藤京子

山口県知的障害者福祉協議会長表彰

知的障害者福祉事業功労者

岡田利枝

山口県肢体不自由児協会理事長表彰

優良職員並びに指導者

鎌田絵里

全国民生委員児童委員連合会長表彰

(平成24年10月18日の全国大会で表彰)

永年勤続民生委員・児童委員表彰

内山俊雄 田中宏明

★「健康福祉月間」作文応募作品入賞者

最優秀賞

下松市立末武中学校3年 梶本典那

佳作

下松市立末武中学校1年 福高心

全国社会福祉協議会長表彰

(平成24年11月16日の全国社会福祉大会で表彰)

民生委員・児童委員功労

中村政徳





善意の花束

社会福祉事業のためにと、市民のみなさんから、善意銀行に忌明その他の厚志を含めてたくさん
の善意がよせられました。ここに厚くお礼申し
上げます。
平成24年9月25日〜平成24年12月20日
(順不同)

香典返し

東陽	伊東 朗子様	十万円	末武上	近藤 誼様	五万円
	御母堂江本道子様		藤光町	御母堂 操様	
古川町	泉原 昭彦様	五万円	美里町	重岡 徳蔵様	十万円
	御尊父 満様			御内室スマ子様	
末武上	三浦扶美子様	十万円	末武中	岩本真由美様	十万円
	御尊父 傳様			御主人正幸様	
潮音町	藤得 澄江様	十八万円	桜町	古川ナヲ子様	五万円
	御主人利博様			御主人徳市様	
生野屋	藤井 俊明様	十万円	旗岡	森氏 民雄様	五万円
	御母堂八重子様			御母堂ノブエ様	
末武上	杉村 伸行様	五万円	下谷	伊藤 信弘様	十万円
	御母堂サトノ様			御母堂イシ様	
中央町	橋本 暢公様	十万円	若宮町	田中 宣子様	十万円
	御母堂リユ子様			御主人 馨様	

旗岡	西浦 弘陽様	十万円
	御尊父哲也様	
匿名様		五万円

一般寄附

下松グラウンドゴルフ協会様	九千三百十円
くだまつスポーツセンター様	
チャリティイーボウリング大会	二万円
累計 百十万一千四百円	
とよいまつり実行委員会様	五千元
累計 三万五千百円	
中央公民館ふれあいまつり	
実行委員会様	一万円
累計 二十七万五千四百円	
来巻むつみ会ボランティアグループ	
代表 中村ヒサノ様	二万円
下松地区労働者福祉協議会様	
	二万六千円
ひまわりの会 代表 藤嶋正子様	四万円
累計 十九万円	
下松商工会議所女性会様	二万円
累計 四十八万円	
国際貿易株式会社 ドコモショップ	
ザ・モール周南店様	三万円
累計 二十一万円	
(有)アンクルエム音楽出版様	一万円

株式会社オーパス様	七十万円
累計 七百九十九万六千円	
指定寄附	
下松高等学校様	二万円

物品寄附

使用済み切手	18件
プルタブ	27件

物品寄附のお願い

本会では、次の物品寄附をお願いしております。皆さんのご協力をお願いいたします。

- ・使用済み切手
- ・書き損じハガキ
- ・プルタブほか

訂正とお詫び

前号11月1日号に誤りがありました。ここに訂正してお詫び申し上げます。
・6ページ 善意の花束

香典返し	
(誤)	松村 綏江 様
	↓
(正)	板村 綏江 様



「寄付つき商品・企画」



御社で作ってみませんか？

山口県共同募金会が実施している赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」に協力企業として参加してみませんか。

企業等にとって本業にメリットのある寄付つき商品をつくって赤い羽根共同募金にご協力いただける企業を募集しています。

このプロジェクトは昨年の4月から始まり、これまでの参加企業は県内26社となっています。

一例として、寄付つき定食や寄付つきカラオケを実施する会社もあります。

《商品・企画基準》

企業等の本業にメリットがあり、且つ売上の一部が赤い羽根共同募金への支援となる、又は顧客が赤い羽根協同募金への支援に参加できる寄付つき企画であること

お問い合わせ 社会福祉法人山口県共同募金会

住所：山口市大手町9-6 山口県社会福社会館2階

TEL：083-922-2803／FAX：083-922-2809／E-mail：yamaguchi@akaihane.net

からだひとつで できるボランティア

はたちの献血キャンペーン（平成25年1月～2月）期間中、献血者が減少しがちな冬期における献血者確保及び献血の一層の推進を図ることを目的に、地域イベントを実施します。

とき

平成25年 2月17日(日)

10:00～12:00

13:15～16:00

ところ

ザ・モール周南

※当日は、イベントとして、献血をされた方にフラワーポットをプレゼントします。

求職者支援制度のご案内

「求職者支援制度」とは、雇用保険が受給できない求職者の方が、職業訓練によるスキルアップを通じて早期就職を目指すための制度です。

具体的には、職業訓練（求職者支援訓練・公共職業訓練）の受講（受講料は無料、テキスト代などは自己負担）、訓練期間中および訓練終了後の就職支援、また、一定の要件を満たす方に、訓練期間中、「職業訓練受講給付金」（月額10万円など）を支給します。

詳しくは、

ハローワーク下松(下松公共職業安定所)

TEL0833-41-0870 または、

山口労働局職業安定部求職者支援室

TEL083-995-0387までお尋ねください。

平成25年度 スマイルクラブメンバー募集!

今年度開催しましたスマイルクラブ活動は、お陰様で大変好評でした。

そこで次年度は、定期的にスマイルクラブを開催することになりました。レク活動を通じてみんなと一緒に楽しい時間を過ごしませんか?あそびにおいでよ

活動日 奇数月の第3日曜日(全6回) 第1回目(5月19日)他5回

活動場所 下松福祉センター 他

参加者 ある程度のことは自分ででき、
集団活動ができる知的障がい者(児)

参加費 活動にかかる実費

定員 各回20名程度

※一緒に活動してくれるボランティアも募集中です。



スマイルクラブの活動風景

問い合わせ・申し込み先

電話又はFAX、E-mailで4月30日までにお申し込みください。

(本人氏名、住所、電話番号、保護者氏名、緊急連絡先)

下松市社会福祉協議会 〒744-0022 下松市大字末武下617-2

TEL0833-41-2242/FAX0833-41-2330/E-mail:info@kudamatu-syakyo.or.jp

福祉教育を推進しています!

社協では子どもを対象とした福祉教育や、大人を対象とした講座や研修会を開催し、福祉の啓発活動に取り組んでいます。先日は、介助犬のバートンとユーザーの熊谷さんが、介助犬への理解と関心を深めてもらおうと久保小学校で出前授業を行いました。熊谷さんは、障がいのこと、バートンとの日常生活のことなどを話され、子ども達は真剣な表情で聞いていました。また、バートンが携帯電話を探して持って来たり、財布を拾ったりといったデモンストレーションを行うと目を輝かせて拍手をしていました。

※介助犬とは、障がいがある人の手足の代わりとなって、日常生活動作や外出のお手伝いをする犬のことです。

